

平成27年度
(平成26年11月～平成27年10月)

環境活動レポート

2015年12月



山崎建設株式会社

環境方針

環境理念

当社は、建設工事において、地球環境の保全が最重要課題の一つと理解し、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

行動指針

- 1 建設工事に伴う環境負荷の低減、また二酸化炭素の排出量削減に努めます。
- 2 廃棄物の削減、リサイクル活動を推進します。
- 3 環境に関連する法規制を遵守します。
- 4 建築物が使用される段階における省エネルギーに配慮した設計に努めます。
- 5 水資源の使用量削減に努めます。
- 6 環境ボランティア活動を通して、地域貢献に努めます。
- 7 グリーン購入の推進に努めます。
- 8 3R活動の推進（Reduce・Reuse・Recycle）
減らす ・ 再使用 ・ 再生利用
- 9 本方針を、全従業員及び協力会社社員に周知、徹底します。

平成24年11月1日

山崎建設 株式会社

取締役社長

山崎 繁美

目次

1. 組織の概要	1 P
2. EA21実施体制	2 P
3. 環境目標とその実績	
3.1 目標の達成状況	3.4 P
3.2 今年度以降の目標	5 P
4. 主要な環境活動の内容	6 P
5. 環境活動の取組結果の評価	
(事業所)	7 P
(現場)	8 P
6. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無	9 P
7. 代表者における評価と見直し	10 P

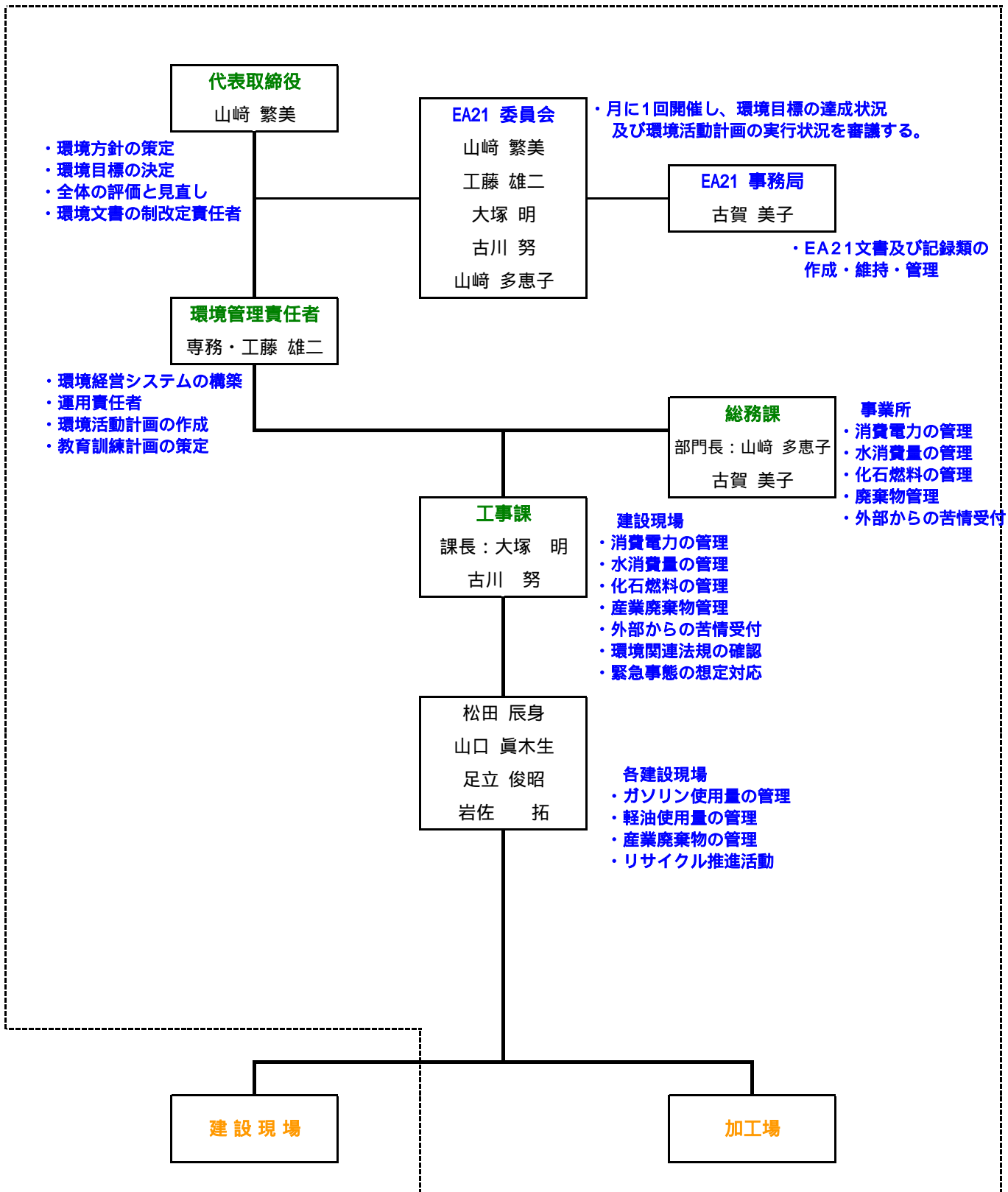
1. 組織の概要

1. 事業所名 代表者氏名	山崎建設 株式会社 代表取締役 山崎 繁美
2. 所在地及び連絡先	本社 〒839-1321 福岡県うきは市吉井町845-1 TEL : 0943-75-5062 FAX : 0943-75-5026 E-mail : info@yama-saki.com 加工場 〒839-1321 福岡県うきは市吉井町817-6
3. 環境管理責任者	専務 : 工藤 雄二 TEL : 0943-75-5062 FAX : 0943-75-5026 E-mail : kudoh@yama-saki.com
4. 事業の内容	・ 特定建設業 : 建築工事業 福岡県知事 許可 (特-27) 第36004号 建築工事業、左官工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、ガラス工事業、防水工事業、大工工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、内装工事業 ・ 一級建築士事務所 福岡県知事 登録 第1-50019号 ・ 宅地建物取引業 福岡県知事 (4) 13520号
5. 対象活動	建築工事業、左官工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、ガラス工事業、防水工事業、大工工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、内装工事業、一級建築士事務所、宅地建物取引業
6. 事業概要	創業 昭和10年4月 設立 昭和47年4月 資本金 23,000千円 完工高 404,159千円 (平成27年度実績) 事業年度 期首11月 - 期末10月 社員数 10名 (平成27年10月現在)
7. 所属団体	(社) 福岡県建設業協会 (社) 福岡県建築士事務所協会 (社) 福岡県宅地建物取引業協会 福岡県建設同友会 うきは市商工会 うきは市防災会議

2. EA21実施体制

(対象組織)

全組織・全活動が認証・登録範囲です。



環境記録の保存期間は、5年とする。

3. 環境目標とその実績

(事業所)

3.1-1 目標の達成状況

当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、平成20年12月から環境活動に取り組んできた。

過去の環境負荷の目標と実績は、以下の通りである。

(年度：11月～翌年の10月)

環境目標	目標 実績	単位	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg-CO2	16,250(2%)	16,085(3%)
	実績	kg-CO2	11,406	13,117
電気使用量の削減	目標	kWh	8,758(2%)	8,668(3%)
	実績	kWh	6,902	7,774
ガソリン使用量の削減	目標	L	4,767.73(2%)	4,719.01(3%)
	実績	L	3,460.03	4,191.02
灯油使用量の削減	目標	L	256.1(2%)	256.1(3%)
	実績	L	283	153
廃棄物排出量の削減	目標	t	0.17(2%)	0.168(3%)
	実績	t	0.225	0.110
総排水量の削減	目標	m3	67.79(2%)	67.09(3%)
	実績	m3	62.5	58
地域貢献活動の推進	目標	回/月(平均)	15回以上/月	15回以上/月
	実績	回/月(平均)	21回/月	21回/月
省エネルギー配慮の設計の推進	目標	回/年	現場毎に提案	現場毎に提案
	実績	回/年	0回	0回
グリーン購入の推進	目標	品目/年	70%	70%
	実績	品目/年	100%	100%

備考：平成26年度・27年度の()内%は、平成22～24年度実績の平均をベースとして削減率を示す。

事業所においては固定人数による事業所作業のため、使用総量にて管理を行う。

電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成22年度実排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用。

3. 環境目標とその実績

(現場・加工場)

3.1-1 目標の達成状況

当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し、平成20年12月から環境活動に取り組んできた。

過去の環境負荷の目標と実績は、以下の通りである。

(年度：11月～翌年の10月)

環境目標	目標 実績	単位	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素排出量の削減	目標	kg-CO2/百万円	62.26(2%)	61.63(3%)
	実績	kg-CO2/百万円	33.98	33.64
電気使用量の削減	目標	KWh/百万円	36.69(2%)	36.32(3%)
	実績	KWh/百万円	51.14	41.01
ガソリン使用量の削減	目標	L/百万円	7.42(2%)	7.34(3%)
	実績	L/百万円	2.04	1.54
軽油使用量の削減	目標	L/百万円	19.12(2%)	18.92(3%)
	実績	L/百万円	3.18	5.13
産業廃棄物排出量の削減	目標	m3/百万円	0.077(2%)	0.069(3%)
	実績	m3/百万円	0.086	0.170
総排水量の削減	目標	m3/百万円	0.782(2%)	0.774(3%)
	実績	m3/百万円	0.07	0.06
地域貢献活動の推進	目標	回/月	15回以上/月	15回以上/月
	実績	回/月	20回/月	21回/月
循環資源利用の推進	目標	品目/年	1種類/年	1種類/年
	実績	品目/年	2品目	2品目

備考：平成26年度・27年度の()内%は、平成22～24年度実績の平均をベースとして削減率を示す。

現場においては原単位にて管理を行う。

電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成22年度実排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用。

3. 環境目標とその実績

3.1-2 二酸化炭素排出量

	単位	平成26年度	平成27年度
事務所	kg-CO2	11,406	13,117
現場・加工場	kg-CO2	14,579	13,589
合計	kg-CO2	25,985	26,706

電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成22年度実排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用。

3.2-1 今年度以降の目標

環境目標	単位	平成27年度 目標	平成27年度 実績	平成28年度 目標	平成29年度 目標	平成30年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	16,085(-3%)	13,117	14,070(-1%)	13,927(-2%)	13,785(-3%)
電気使用量の削減	kWh	8,668(-3%)	7,774	6,785(-1%)	6,717(-2%)	6,648(-3%)
ガソリン使用量の削減	L	4,719.01(-3%)	4,191.02	4,114(-1%)	4,073(-2%)	4,031(-3%)
灯油使用量の削減	L	256.1(-3%)	153.0	218(-1%)	216(-2%)	213(-3%)
廃棄物排出量の削減	t	0.168(-3%)	0.206	0.192(-1%)	0.190(-2%)	0.188(-3%)
総排水量(給水量)の削減	m ³	67.09(-3%)	58.0	64.94(-1%)	64.29(-2%)	63.63(-3%)
地域貢献活動の推進	回/月	15回/月	21回/月	15回/月	15回/月	15回/月
省エネルギー配慮設計の推進	回/年	現場毎に 提案	0回	現場毎に 提案	現場毎に 提案	現場毎に 提案
グリーン購入の推進	品目/年	70%	100%	70%	70%	70%

備考：平成28年度以降の()内%は、平成25～27年度実績の平均をベースとして削減率を示す。

事業所においては固定人数による事業所作業のため、使用総量にて管理を行う。

電力の二酸化炭素排出係数は、平成28年度以降の目標値は0.584kg-CO2/kWh、平成27年度の目標値及び実績値については、0.385kg-CO2/kWhを用いています。

3.2-2 今年度以降の目標

環境目標	単位	平成27年度 目標	平成27年度 実績	平成28年度 目標	平成29年度 目標	平成30年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/売上百万円	61.63(-3%)	33.64	61.75(-1%)	61.12(-2%)	60.50(-3%)
電気使用量の削減	KWh/売上百万円	36.32(-3%)	41.01	56.69(-1%)	56.11(-2%)	55.54(-3%)
ガソリン使用量の削減	L/売上百万円	7.34(-3%)	1.54	5.06(-1%)	5.00(-2%)	4.95(-3%)
軽油使用量の削減	L/売上百万円	18.92(-3%)	5.13	6.00(-1%)	5.94(-2%)	5.87(-3%)
産業廃棄物排出量の削減	m ³ /売上百万円	0.069(-3%)	0.17	0.167(-1%)	0.165(-2%)	0.164(-3%)
総排水量(給水量)の削減	m ³ /売上百万円	0.774(-3%)	0.06	0.089(-1%)	0.088(-2%)	0.087(-3%)
地域貢献活動の推進	回/月	15回/月	21回/月	15回/月	15回/月	15回/月
循環資源利用の推進	品目/年	2品目	1品目	2品目	2品目	2品目

備考：平成28年度以降の()内%は、平成25～27年度実績の平均をベースとして削減率を示す。

事業所においては固定人数による事業所作業のため、使用総量にて管理を行う。

電力の二酸化炭素排出係数は、平成28年度以降の目標値は0.584kg-CO2/kWh、平成27年度の目標値及び実績値については、0.385kg-CO2/kWhを用いています。

4. 主要な環境活動の内容及び取組結果と評価

(事業所)

1. 二酸化炭素排出量削減のための取組目標と取組方法	判定	評価と次年度の取組
(1) 電気使用量の削減 (-3%) エアコンの設定温度を暖房20、冷房28と決め、実行する。 各部屋不在時、昼休み時の消灯実施。 使用していない機械(パソコン等)の電源OFFを徹底する。 省エネルギーに配慮した設計に努める。	/	昼休み消灯や機械の電源オフが実行できていなかったため、次年度は注意して徹底する。
(2) ガソリン、軽油使用量の削減 (-3%) アイドリングストップを実行する。 現場までの車両通行経路を決め、無駄な走行をやめる(適切な運行計画を立てる)。	/	タイヤの空気圧やオイル等の点検も行うよう注意する。
2. 廃棄物排出量削減のための取組		裏紙使用は継続して行う。
(1) 単純焼却発生量の削減 (-3%) 事務所内書類に関しては、裏紙を使用する。 分別によるリサイクル推進。	/	
3. 総排水量削減のための取組 節水を行う。	/	節水活動は継続して行う。
4. 地域貢献活動の推進 事務所周辺の清掃を行う。	/	清掃活動は継続して行う。
5. 省エネルギー配慮設計の推進 断熱ガラス・太陽光発電等の推進を各現場の提案を行う。	/	省エネ設計の推進は継続して行う。
6. グリーン購入の推進 事務所内での文房具・事務用品等の再生品購入。	/	グリーン購入は継続して行う。
(現場)		
1. 二酸化炭素排出量削減のための取組目標と取組方法	判定	評価と次年度の取組
(1) ガソリン、軽油使用量の削減 (-3%) アイドリングストップを実行する。 現場までの車両通行経路を決め、無駄な走行をやめる(適切な運行計画を立てる)。	/	材料の忘れがあり、無駄な走行があったため、再度注意する。
(2) 電気使用量の削減 使用しない電源を切る。節電活動推進。	/	
2. 産業廃棄物排出量削減のための取組		分別はよくできていた。継続して行う。
(1) 産業廃棄物のリサイクル促進 分別管理を行い、リサイクル率を向上させる。	/	
(2) 産業廃棄物量の抑制 過剰な梱包での現場持込を禁止する。	/	
3. 総排水量削減のための取組 節水を行う。	/	節水活動は継続して行う。
4. 地域貢献活動の推進 事務所周辺の清掃を行う。	/	清掃活動は継続して行う。
5. 循環資源利用の推進 建設資材の循環資源の利用促進。	/	循環資源の推進は継続して行う。

5. 環境活動の取組結果の評価及び次年度の取組

(事業所)

5.1 実績

目 標	単 位	平成26年度 実績	平成27年度 目標	平成27年度 実績	目標達成の判定	
					評価	%
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	11,406	16,085	13,117		81.5
電気使用量の削減	kwh	6,902	8,668	7,774		89.7
ガソリン使用量の削減	L	3,460.03	4,719.01	4,191.02		88.8
灯油使用量の削減	L	283.0	256.1	153.0		59.7
廃棄物排出量の削減	t	0.225	0.168	0.206	×	122.6
総排水量（給水量）の削減	m3	62.50	67.09	58.0		86.5
地域貢献活動の推進	平均 回/月	21回/月	15回/月	21回		
省エネ・配慮設計の推進	回/年	0回	現場毎に提案	0回	-	
グリーン購入の推進	品目/年	100%	70%	100%		

目標達成の%表示は、実績÷目標×100 で計算し算出しております。

5.2 評価

電気使用量、ガソリン、灯油、廃棄物、排水量においては目標達成できていますが産廃物の排出量だけが目標達成できませんでした。弁当ゴミは各自家に持ち帰るなどをして目標達成に努力していきたいと思っております。

5.3 次年度の取組

事務所内のエアコンの設定温度の強化を行い、電気使用量の削減は再度力をいれて取組ます。

5. 環境活動の取組結果の評価及び次年度の取組

(現場・加工場)

5.1 実績

目 標	単 位	平成26年度 実績	平成27年度 目標	平成27年度 実績	目標達成の判定	
					評価	%
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/売上百万円	33.98	61.63	33.64		55%
電気使用量の削減	KWh/売上百万円	51.14	36.32	41.01	×	113%
ガソリン使用量の削減	L/売上百万円	2.04	7.34	1.54		21%
軽油使用量の削減	L/売上百万円	3.18	18.92	5.13		27%
産業廃棄物排出量の削減	m3/売上百万円	0.086	0.07	0.170	×	246%
総排水量（給水量）の削減	m3/売上百万円	0.070	0.774	0.06		8%
地域貢献活動の推進	回/月	21回/月	15回/月	21回		
循環資源利用の推進	品目/年	2品目	2品目	1品目		

目標達成の%表示は、実績÷目標×100 で計算し算出しております。

5.2 評価

前年度に続き、電気使用量が増加した結果となった。公共工事などの大型物件での電気使用が多かったためと判断しており、現場での節電が再度課題となりそうです。産業廃棄物も同様に、現場での分別は当然行っているが、量の削減は難しく、難題となっています。

5.3 次年度の取組

工事現場では電動工具や機械でやむを得ず電気を使用するが、各現場に節電を呼びかける表示を行い、作業員にも無駄な電気をしようしないよう再度認知してもらおう。産廃も材料の梱包を削減するなどし、現場での処分を極力減らすよう努力する。

6. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

法律	要求事項	適・否
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ###	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の義務	適
	処理基準の遵守	適
	保管基準の遵守	適
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	適
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	建設業等を営む者の責務
分解解体等実施義務		適
届出に係る事項の説明義務		適
請負契約に係る書面の記載事項		適
再資源化実施義務		適
発注者への報告等		適
下請負人に対する元請業者の指導		適
騒音規制法	特定施設の設置の届出	
	規制基準の遵守	
	特定建設作業の事前届出	
	規制基準の遵守	
振動規制法	特定施設の設置の届出	
	規制基準の遵守	
	特定建設作業の事前届出	
	規制基準の遵守	
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	使用の制限	適
	適応除外	適
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適

7. 代表者による評価と見直し

事務所				現場			
目 標	単 位	平成27年度 目 標	平成27年度 実 績	目 標	単 位	平成27年度 目 標	平成27年度 実 績
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	16,085	13,117	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/売上百万円	61.63	33.64
電気使用量の削減	kwh	8,668	7,774	電気使用量の削減	KWh/売上百万円	36.32	41.01
ガソリン使用量の削減	L	4,719.01	4,191.02	ガソリン使用量の削減	L/売上百万円	7.34	1.54
灯油使用量の削減	L	256.1	153.0	軽油使用量の削減	L/売上百万円	18.92	5.13
廃棄物排出量の削減	t	0.168	0.206	産業廃棄物排出量の削減	m3/売上百万円	0.07	0.170
総排水量（給水量）の削減	m3	67.09	58.0	総排水量（給水量）の削減	m3/売上百万円	0.774	0.06
地域貢献活動の推進	平均 回/月	15回/月	21回	地域貢献活動の推進	回/月	15回/月	21回
省エネ設計-配慮設計の推進	回/年	現場毎に提案	0回	循環資源利用の推進	品目/年	2品目	1品目
グリーン購入の推進	品目/年	70%	100%				

事務所の削減成績は産廃物以外の項目において目標達成できていたのでよかったです。来年度は全ての項目において目標できるようにできるように取り組んでいきたいと思ひます。

現場削減率では、電気の使用量が加工場内での仕事が多かったために目標の数値を大幅に超えてしまひましたが、まだ節電に対する工夫が足りなかつたのだと思ひます。休憩時間などの照明の消灯などが徹底されていなかつたので徹底していきたくと思ひます。加工場移設計画の元、不要な資材残材の整理を行つており、産廃の増加が目立ちますが、分別リサイクルを徹底して行きたいと思つておひります。

来年度は省エネ設計にも力を入れ活動していきたく思ひます。

平成27年12月20日

山崎建設株式会社

代表取締役 **山崎**

繁美